

士別市民スポーツ意識調査結果（子ども）

調査期間 令和 7 年 3 月10日～28日

調査方法 学校への配布（小学 5 年生、中学 2 年生、高校 2 年生）

●子ども 回答数（設問 1 ～ 2）

項目	抽出数	回答数			回収率
	総計	男性	女性	総計	
小学5年生	105人	44人	45人	89人	84. 8%
中学2年生	110人	54人	55人	109人	99. 1%
高校2年生	112人	44人	51人	95人	84. 8%
総計	327人	142人	151人	293人	89. 6%
前回調査	457人	—	—	435人	95. 2%

設問3

あなたはスポーツや運動をするのが好きですか？

小学5年生

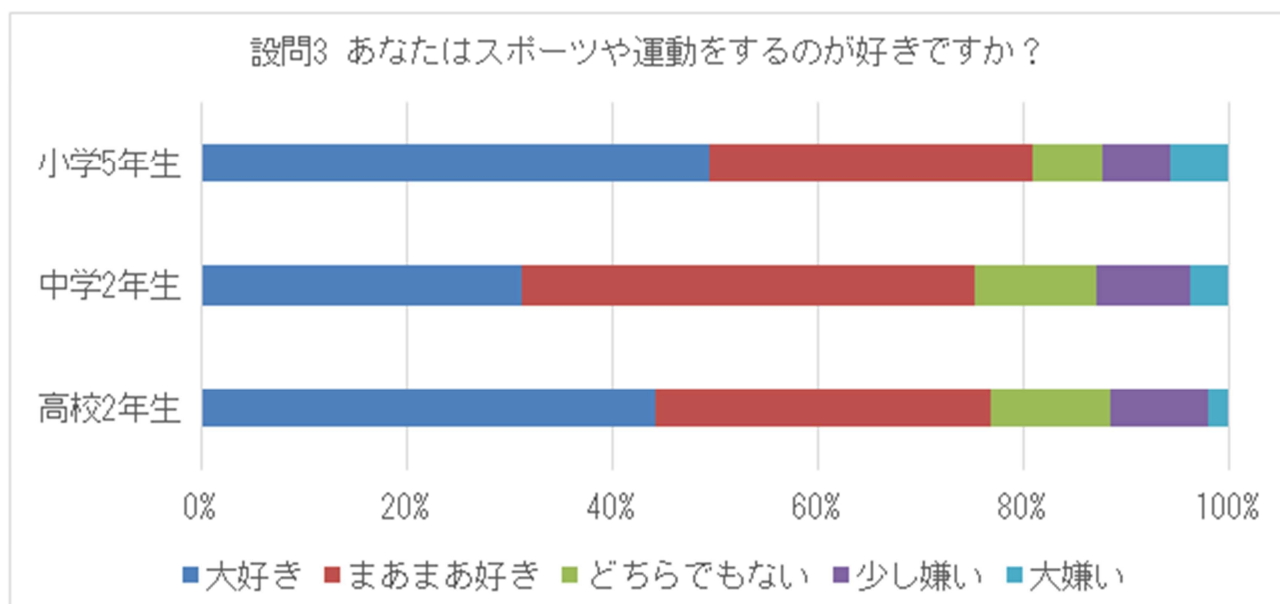
項目	男子	女子	総計
大好き	64.4%	34.1%	49.4%
まあまあ好き	22.2%	40.9%	31.5%
どちらでもない	2.2%	11.4%	6.7%
少し嫌い	4.4%	9.1%	6.7%
大嫌い	6.7%	4.5%	5.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

中学2年生

項目	男子	女子	総計
大好き	40.0%	22.2%	31.2%
まあまあ好き	50.9%	37.0%	44.0%
どちらでもない	3.6%	20.4%	11.9%
少し嫌い	5.5%	13.0%	9.2%
大嫌い	0.0%	7.4%	3.7%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計
大好き	58.8%	27.3%	44.2%
まあまあ好き	27.5%	38.6%	32.6%
どちらでもない	5.9%	18.2%	11.6%
少し嫌い	5.9%	13.6%	9.5%
大嫌い	2.0%	2.3%	2.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%



【回答のまとめ】

- ▼「大好き」「まあまあ好き」を合計すると、小学5年生は80.9%、中学2年生は75.2%、高校2年生は76.8%が「好き」と回答しています。
- ▼小学5年生が最もスポーツ好意度が高く、中学2年生でいったん低下した後、高校2年生でやや回復する傾向があります。
- ▼すべての学年で、男子の「大好き」率が女子を上回っています。
- ▼特に中学2年生では、女子の「大好き」が22.2%にとどまり、男子の40.0%との差が大きく、この時期にスポーツに対する好意度が一時的に低下しています。
- ▼高校2年生男子は「大好き」の割合が比較的高く、スポーツへの意欲を維持していますが、高校2年生女子は依然として低い水準にとどまっています。

【回答からの考察】

- ▼小学段階での「運動好き」を中学以降も継続できるようにする仕組みづくりが考えられます。
- ▼女子は中学以降で運動離れが見られるため、楽しさや交流を重視した多様な取り組みを展開することが望まれます。
- ▼高校段階では、競技志向層と消極層の二極化が見られることから、気軽に参加できる運動機会や部活動以外の活動の場を確保することが考えられます。

設問4

学校の授業以外で、スポーツや運動をしていますか？

小学5年生

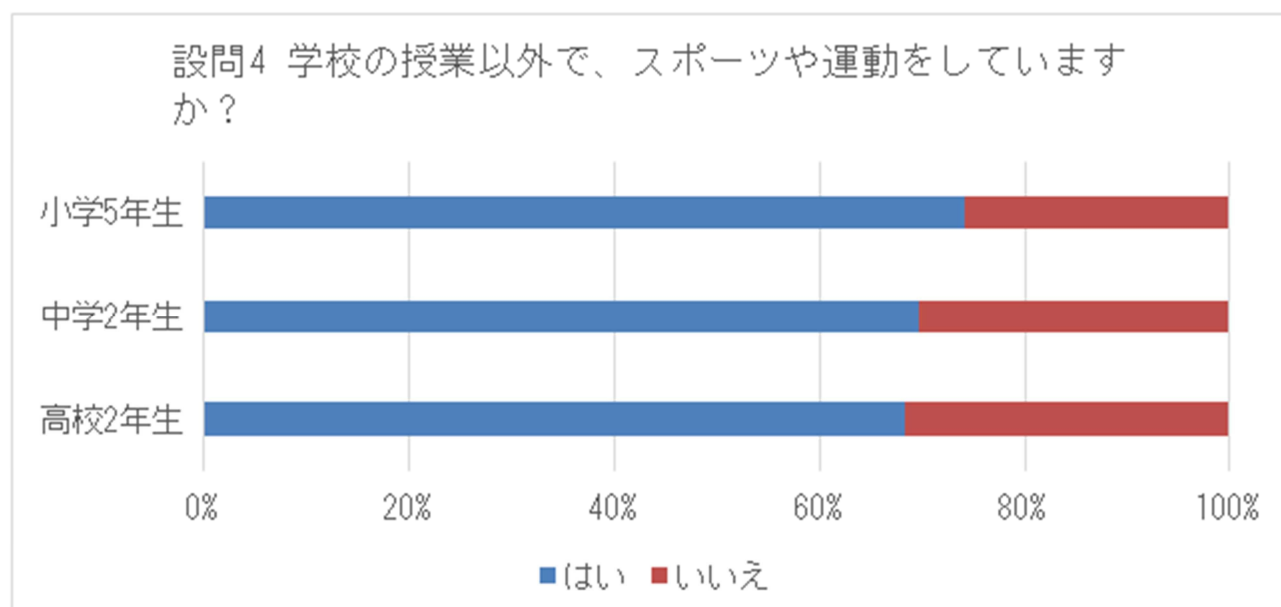
項目	男子	女子	総計
はい	82.2%	65.9%	74.2%
いいえ	17.8%	34.1%	25.8%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

中学2年生

項目	男子	女子	総計
はい	81.8%	57.4%	69.7%
いいえ	18.2%	42.6%	30.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計
はい	76.5%	59.1%	68.4%
いいえ	23.5%	40.9%	31.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%



【設問3の回答との関連性】

回答項目		設問3 あなたはスポーツや運動をするのが好きですか？				
		大好き	まあまあ好き	どちらでもない	少し嫌い	大嫌い
設問4 学校の授業以外で、スポーツや運動をしていますか？	はい	111	71	13	9	3
	いいえ	9	36	17	16	8

【回答のまとめ】

- ▼小学5年生では74.2%、中学2年生では69.7%、高校2年生では68.4%が「授業外にも運動する」と回答しています。
- ▼全学年を通じて、男子の方が授業以外でスポーツをする割合が高いです。
- ▼小学から中学への移行期に一度低下するものの、高校でも大きく落ち込まず、概ね7割前後で推移しています。
- ▼中学2年生女子は、小学5年生の65.9%からさらに低下し、授業外での運動参加が減少しています。
- ▼中学2年生女子と高校2年女子では、約4割が授業以外で運動していません。
- ▼全学年で、設問3「あなたはスポーツや運動をするのが好きですか？」で「大好き」「まあまあ好き」と答えた方のうち45人が「学校の授業以外で、スポーツや運動をしていない」と回答しています。

【回答からの考察】

- ▼男子は比較的安定して高い実施率を維持していますが、女子は中学段階で大きく低下し、その後も回復の兆しが見られないです。
- ▼特に女子では、気軽に参加できる活動や自分に合ったスタイルで楽しめるプログラムの拡充が考えられます。
- ▼中学段階での部活動以外の選択肢の少なさや、学習・生活との両立の難しさが影響していると見られます。
- ▼授業以外での運動機会を広げる工夫が、継続的なスポーツ参加につながると考えられます。

設問5

（設問4で「はい」と答えた人のみ）どのくらいスポーツや運動をしていますか？

小学5年生

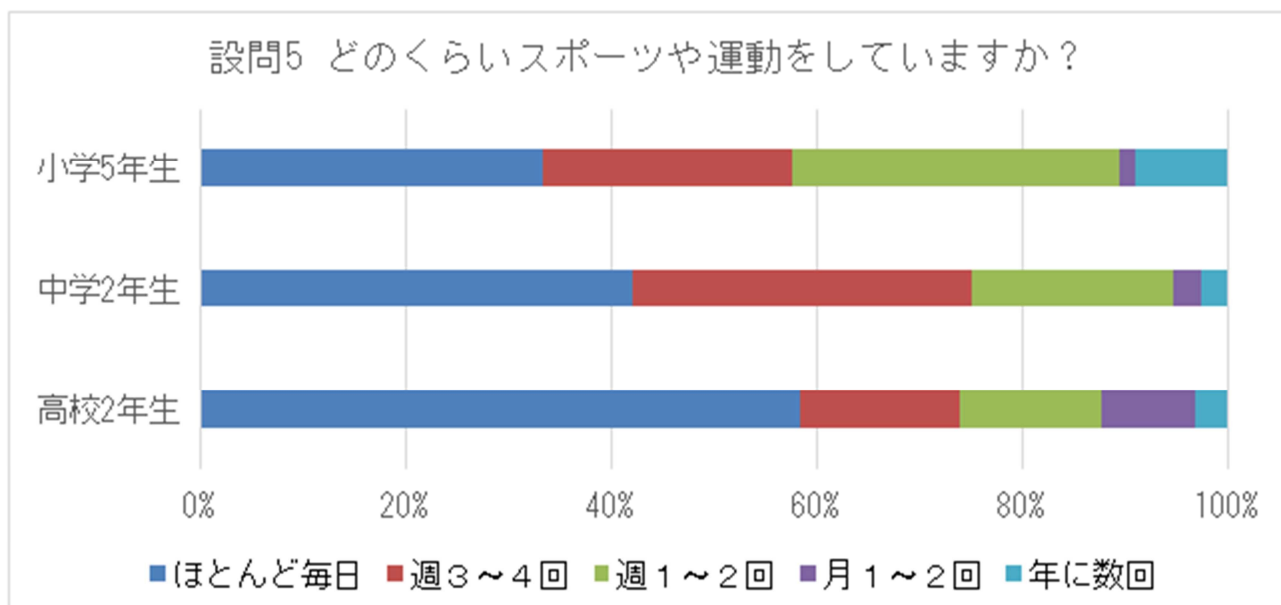
項目	男子	女子	総計	2017調査
ほとんど毎日	43.2%	20.7%	33.3%	21.1%
週3～4回	32.4%	13.8%	24.2%	33.1%
週1～2回	21.6%	44.8%	31.8%	21.1%
月1～2回	0.0%	3.4%	1.5%	7.5%
年に数回	2.7%	17.2%	9.1%	12.0%
無回答				5.2%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

中学2年生

項目	男子	女子	総計	2017調査
ほとんど毎日	48.9%	32.3%	42.1%	67.9%
週3～4回	26.7%	41.9%	32.9%	10.1%
週1～2回	15.6%	25.8%	19.7%	9.5%
月1～2回	4.4%	0.0%	2.6%	5.4%
年に数回	4.4%	0.0%	2.6%	6.0%
無回答				1.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計	2017調査
ほとんど毎日	61.5%	53.8%	58.5%	50.7%
週3～4回	15.4%	15.4%	15.4%	18.7%
週1～2回	12.8%	15.4%	13.8%	16.4%
月1～2回	7.7%	11.5%	9.2%	4.5%
年に数回	2.6%	3.8%	3.1%	8.2%
無回答				1.5%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



【回答のまとめ】

- ▼小学5年生では33.3%が「ほとんど毎日」、中学2年生では42.1%、高校2年生では58.5%となっており、学年が上がるほど毎日運動する割合が増え、運動頻度が徐々に高まっています。
- ▼中学では、部活動を中心に運動頻度が高まっています。
- ▼小学5年生の週1回以上の実施率は、2017年調査の21.1%から33.3%へと12.2ポイント上昇しています。
- ▼中学2年生の「ほとんど毎日」の実施率は、2017年調査の67.9%から42.1%に減少した一方で、「週に3～4回」が増加しており、部活動ガイドラインの影響がみられる可能性があります。
- ▼高校では、男女とも「ほぼ毎日」運動する層が増加しており、競技志向や部活動継続層が全体を引き上げています。一方で、「月1～2回」程度の層も増えており、運動頻度の二極化がうかがえます。
- ▼すべての学年で男子の方が毎日運動する割合が高い傾向です。

【回答からの考察】

- ▼高校段階では運動頻度が高まる一方で、競技志向が強まっている傾向が見られます。
- ▼女子の中学段階での運動頻度の低下を改善し、楽しみながら継続できるような環境づくりが考えられます。

設問6

（設問4で「はい」と答えた人のみ）どこでスポーツや運動をしていますか？【複数回答】

小学5年生

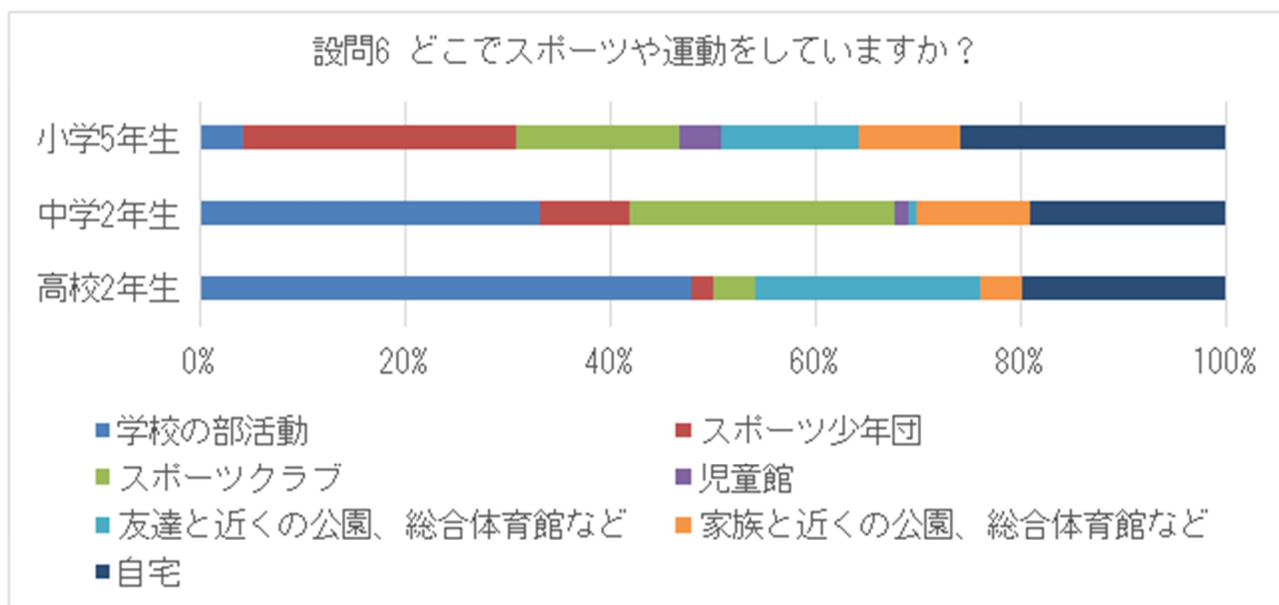
項目	男子	女子	総計
学校の部活動	5.4%	2.2%	4.2%
スポーツ少年団	29.7%	21.7%	26.7%
スポーツクラブ	16.2%	15.2%	15.8%
児童館	4.1%	4.3%	4.2%
友達と近くの公園、総合体育館など	13.5%	13.0%	13.3%
家族と近くの公園、総合体育館など	8.1%	13.0%	10.0%
自宅	23.0%	30.4%	25.8%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

中学2年生

項目	男子	女子	総計
学校の部活動	34.2%	31.6%	33.1%
スポーツ少年団	7.6%	10.5%	8.8%
スポーツクラブ	30.4%	19.3%	25.7%
児童館	0.0%	3.5%	1.5%
友達と近くの公園、総合体育館など	0.0%	1.8%	0.7%
家族と近くの公園、総合体育館など	10.1%	12.3%	11.0%
自宅	17.7%	21.1%	19.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計
学校の部活動	50.9%	43.6%	47.9%
スポーツ少年団	1.8%	2.6%	2.1%
スポーツクラブ	0.0%	10.3%	4.2%
友達と近くの公園、総合体育館など	24.6%	17.9%	21.9%
家族と近くの公園、総合体育館など	1.8%	7.7%	4.2%
自宅	21.1%	17.9%	19.8%
総計	100.0%	100.0%	100.0%



【回答のまとめ】

- ▼中学からは学校の部活動が中心となり、高校ではさらに部活動への偏りが強まっています。
- ▼小学5年生では「スポーツ少年団」が26.7%、「クラブ」が15.8%と利用が多いですが、中学・高校では大きく低下しています。
- ▼小学5年生の25.8%が「自宅」で運動しており、中学・高校でやや減少するものの約2割が継続しています。
- ▼「友達と近くの公園等」は小学5年生で13.3%、中学2年生で0.7%と減少しますが、高校2年生で21.9%に回復しています。
- ▼女子は男子よりも、家庭や地域など多様な場所で活動する傾向があります。

【回答からの考察】

- ▼中学・高校では、部活動以外で運動できる機会が限られている状況がうかがえます。
- ▼「誰もが地域で運動に親しめる仕組み」について、今後検討していく方向が考えられます。

設問7

（設問4で「はい」と答えた人のみ）スポーツや運動を通じて友達が増えたと感じますか？

小学5年生

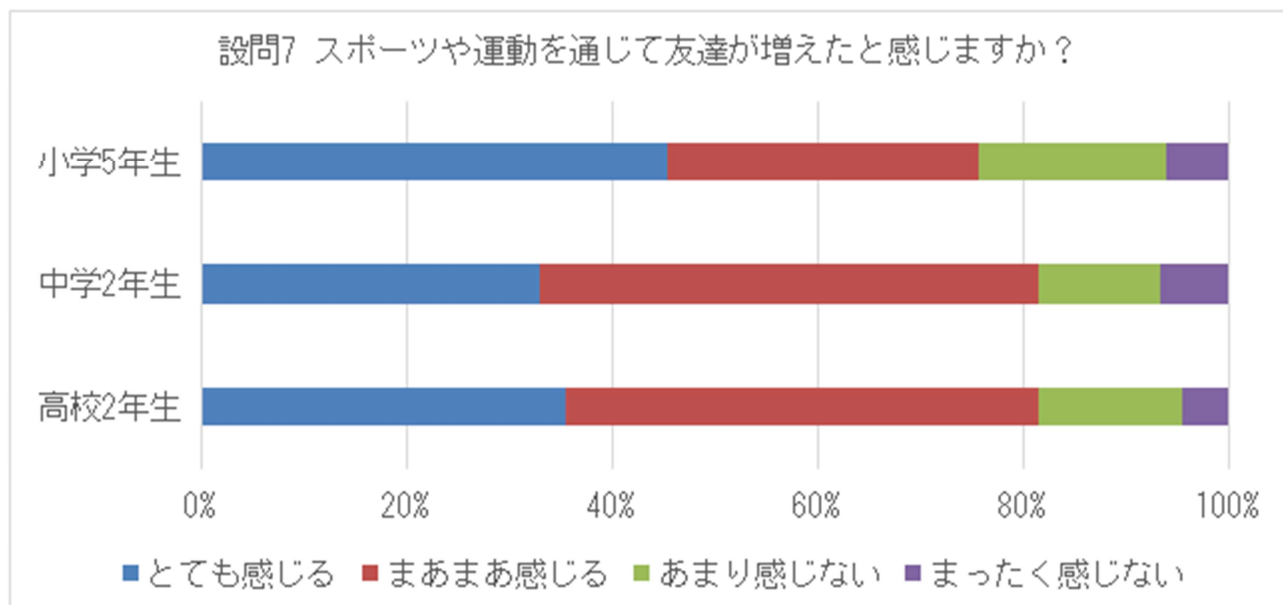
項目	男子	女子	総計
とても感じる	59.5%	27.6%	45.5%
まあまあ感じる	24.3%	37.9%	30.3%
あまり感じない	16.2%	20.7%	18.2%
まったく感じない	0.0%	13.8%	6.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

中学2年生

項目	男子	女子	総計
とても感じる	37.8%	25.8%	32.9%
まあまあ感じる	42.2%	58.1%	48.7%
あまり感じない	13.3%	9.7%	11.8%
まったく感じない	6.7%	6.5%	6.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計
とても感じる	41.0%	26.9%	35.4%
まあまあ感じる	51.3%	38.5%	46.2%
あまり感じない	7.7%	23.1%	13.8%
まったく感じない	0.0%	11.5%	4.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%



【回答のまとめ】

- ▼小学段階では「とても感じる」が多いですが、学年が上がるにつれて「まあまあ感じる」が中心になります。
- ▼全学年で約8割が「友達が増えた」と実感しており、スポーツ活動を通じた友達づくりの効果がうかがえます。
- ▼友達づくりの効果は、中学・高校でより広く実感されており、特に男子でその傾向が強いです。
- ▼女子は「あまり感じない」「まったく感じない」と回答する割合が男子より高く、女子の友達づくりの実感はやや低い傾向です。
- ▼男子は、スポーツを通じて友人関係が築かれやすい一方で、女子はその広がりには限定的です。

【回答からの考察】

- ▼スポーツは、友人関係の構築や人とのつながりを生むきっかけになっていると考えられます。
- ▼女子は中学・高校段階で「友達が増えない」と感じる割合が高いです。
- ▼競技や勝敗だけでなく、交流や協力を重視したプログラムづくりが一つの方向として考えられます。
- ▼仲間づくりを促す活動が、継続的なスポーツ参加にもつながる可能性があります。

設問8

（設問4で「はい」と答えた人のみ）スポーツや運動に、どのように取り組みたいですか？

小学5年生

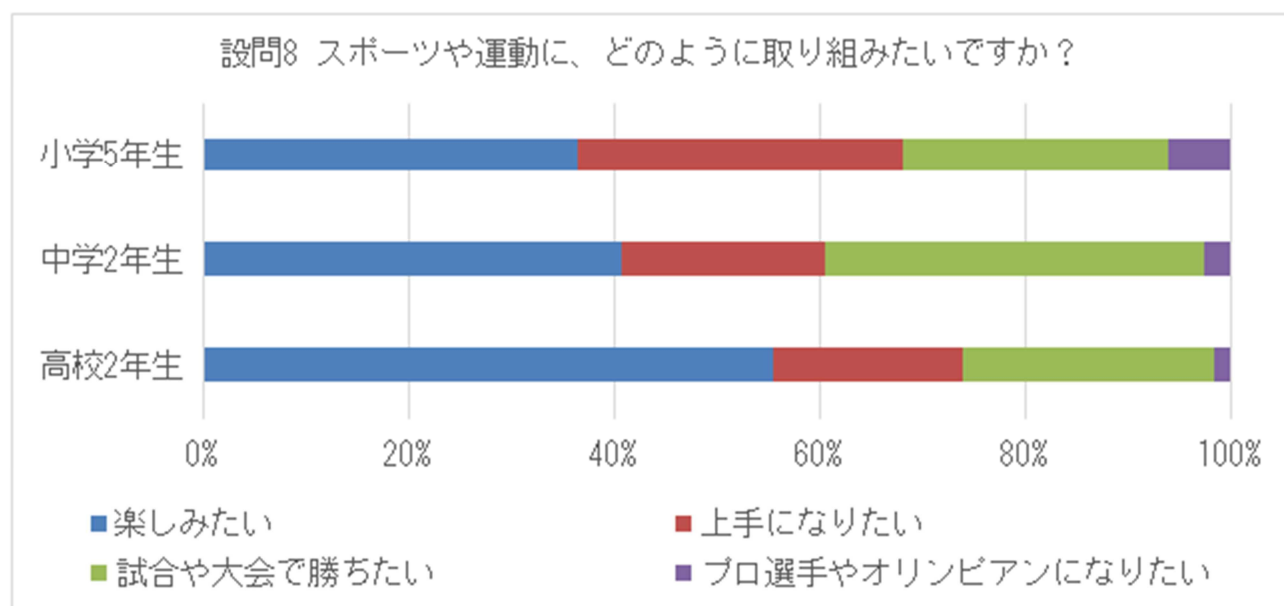
項目	男子	女子	総計
楽しみたい	43.2%	27.6%	36.4%
上手になりたい	29.7%	34.5%	31.8%
試合や大会で勝ちたい	21.6%	31.0%	25.8%
プロ選手やオリンピックになりたい	5.4%	6.9%	6.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

中学2年生

項目	男子	女子	総計
楽しみたい	37.8%	45.2%	40.8%
上手になりたい	20.0%	19.4%	19.7%
試合や大会で勝ちたい	37.8%	35.5%	36.8%
プロ選手やオリンピックになりたい	4.4%	0.0%	2.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計
楽しみたい	51.3%	61.5%	55.4%
上手になりたい	12.8%	26.9%	18.5%
試合や大会で勝ちたい	33.3%	11.5%	24.6%
プロ選手やオリンピックになりたい	2.6%	0.0%	1.5%
総計	100.0%	100.0%	100.0%



【設問5の回答との関連性】

回答項目		設問5 どのくらいスポーツや運動をしていますか？				
		ほとんど毎日	週3～4回	週1～2回	月1～2回	年に数回
設問8 スポーツや運動に、どのように取り組みたいですか？	楽しみたい	29	20	28	8	6
	上手になりたい	19	10	15	1	3
	試合や大会で勝ちたい	38	20	2		1
	プロ選手やオリンピックになりたい	6	1			

【回答のまとめ】

- ▼小学5年生で36.4%、中学2年生で40.8%、高校2年生で55.4%が「楽しみたい」と回答しており、学年が上がるほど楽しさを求める傾向が強まっています。特に女子ではこの傾向が顕著です。
- ▼小学5年生では、楽しみを重視しつつ技術向上を目指す児童が多く、男女とも一定数の競技志向層が見られます。
- ▼中学2年生では「楽しみたい」と「勝ちたい」が拮抗し、小学より競技志向が高まっています。
- ▼高校2年生では「楽しみたい」が過半数を占め、競技志向は減少しており、楽しさを重視へと回帰する傾向が見られます。特に女子でその傾向が強いです。
- ▼将来のプロ選手志望は、小学にわずかに見られますが、中学・高校では減少しています。

【回答からの考察】

- ▼中学段階では競技志向が高まるため、部活動や大会等を通じて「挑戦できる環境づくり」を整えることが考えられます。
- ▼高校段階では「楽しみたい」が主流となるため、勝敗や競技力に偏らず、楽しみながら参加できるスポーツ環境を整えていくことが望まれます。
- ▼成長段階に応じて、目的や意欲の違いを踏まえた取組を展開していくことが考えられます。

設問9

（設問4で「いいえ」と答えた人のみ）スポーツや運動をしていない理由は何ですか？【複数回答】

小学5年生

項目	男子	女子	総計
勉強や宿題が多いから	8.3%	18.2%	14.0%
習い事が多いから	0.0%	6.1%	3.5%
寝不足になるから	4.2%	3.0%	3.5%
好きなスポーツがないから	12.5%	15.2%	14.0%
スポーツに興味がないから	16.7%	9.1%	12.3%
場所がないから	8.3%	12.1%	10.5%
一緒にする人がいないから	20.8%	12.1%	15.8%
疲れるから	16.7%	12.1%	14.0%
ケガをするのが怖いから	8.3%	12.1%	10.5%
その他	4.2%	0.0%	1.8%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

中学2年生

項目	男子	女子	総計
勉強や宿題が多いから	21.1%	0.0%	5.6%
習い事が多いから	10.5%	1.9%	4.2%
寝不足になるから	5.3%	3.8%	4.2%
好きなスポーツがないから	0.0%	15.4%	11.3%
スポーツに興味がないから	15.8%	23.1%	21.1%
場所がないから	10.5%	11.5%	11.3%
一緒にする人がいないから	5.3%	13.5%	11.3%
疲れるから	26.3%	25.0%	25.4%
ケガをするのが怖いから	0.0%	5.8%	4.2%
その他	5.3%	0.0%	1.4%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計
勉強や宿題が多いから	10.5%	13.6%	12.7%
習い事が多いから	5.3%	2.3%	3.2%
寝不足になるから	0.0%	2.3%	1.6%
好きなスポーツがないから	5.3%	15.9%	12.7%
スポーツに興味がないから	26.3%	15.9%	19.0%
場所がないから	0.0%	11.4%	7.9%
一緒にする人がいないから	21.1%	9.1%	12.7%
疲れるから	26.3%	22.7%	23.8%
ケガをするのが怖いから	5.3%	6.8%	6.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

【設問3の回答との関連性】

回答項目		設問3 あなたはスポーツや運動をするのが好きですか？				
		大好き	まあまあ好き	どちらでもない	少し嫌い	大嫌い
設問9 スポーツや運動をしていない理由は何ですか？	勉強や宿題が多いから	3	11	1	4	1
	習い事が多いから		6	1		
	寝不足になるから		4		1	1
	好きなスポーツがないから		5	7	7	5
	スポーツに興味がないから		8	6	13	7
	場所がないから	1	10	4	3	1
	一緒にする人がいないから	5	8	6	4	2
	疲れるから	2	14	7	11	7
	ケガをするのが怖いから	1	6	3	1	2
	その他		1			1

【回答のまとめ】

- ▼「疲れるから」が最も多く、中学2年生で25.4%、高校2年生で23.8%となっており、体力的・心理的な負担を理由に挙げる生徒が最も多いです。
- ▼小学5年生では「一緒にする人がいない」が15.8%、「好きなスポーツがない」「疲れるから」がそれぞれ14.0%で並んでいます。
- ▼「スポーツに興味がない」は、中学2年生で21.1%、高校2年生で19.0%となっており、関心の喚起が課題として考えられます。
- ▼小学から中学への移行に「疲れる」、「興味がない」とする回答が増加しています。

【回答からの考察】

- ▼「勉強との両立」を難しさとして挙げる傾向があり、学習時間を確保しながら参加できるプログラムづくりが考えられます。
- ▼「疲れる」との回答に対しては、運動強度を調整できる内容や、気軽に取り組める運動機会を設けることが有効と考えられます。
- ▼女子の「好きなスポーツがない」という回答に対しては、種目や内容の選択肢を広げる取組が考えられます。

設問10

健康や体力を保つために、スポーツは大切だと思いますか？

小学5年生

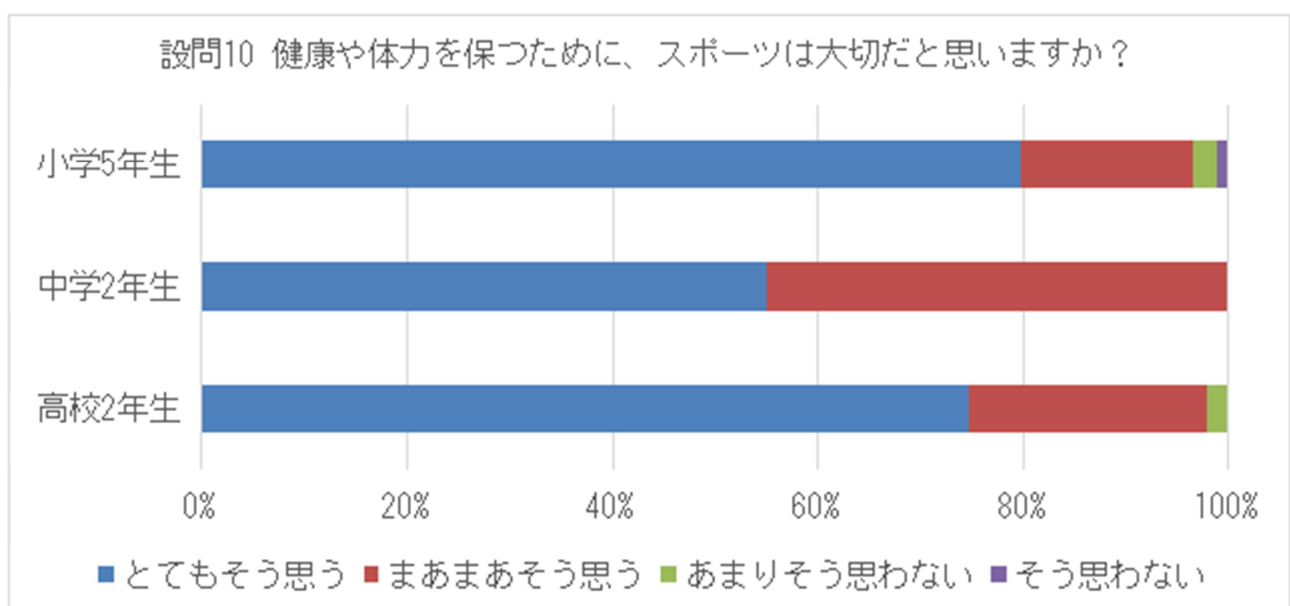
項目	男子	女子	総計
とてもそう思う	84.4%	75.0%	79.8%
まあまあそう思う	11.1%	22.7%	16.9%
あまりそう思わない	2.2%	2.3%	2.2%
そう思わない	2.2%	0.0%	1.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

中学2年生

項目	男子	女子	総計
とてもそう思う	54.5%	55.6%	55.0%
まあまあそう思う	45.5%	44.4%	45.0%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計
とてもそう思う	80.4%	68.2%	74.7%
まあまあそう思う	17.6%	29.5%	23.2%
あまりそう思わない	2.0%	2.3%	2.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%



【設問3の回答との関連性】

回答項目		設問3 あなたはスポーツや運動をするのが好きですか？				
		大好き	まあまあ好き	どちらでもない	少し嫌い	大嫌い
設問10 健康や体力を保つために、スポーツは大切だと思いますか？	とてもそう思う	108	71	12	7	4
	まあまあそう思う	12	36	16	17	5
	あまりそう思わない			2		2
	そう思わない				1	

【回答のまとめ】

- ▼健康や体力を維持するうえでのスポーツの意義は、全学年で強く認識されています。小学5年生で79.8%、中学2年生で55.0%、高校2年生で74.7%が「とてもそう思う」と回答しています。
- ▼小学から中学への移行期に「とてもそう思う」が大幅に減少しており、男子では84.4%→54.5%、女子では75.0%→55.6%と低下しています。
- ▼男子の方が、全体的に認識が高い傾向です。
- ▼「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせても全体で3%以下にとどまり、否定的な回答はごく少数です。
- ▼設問3で「少し嫌い」または「大嫌い」と回答した人の中でも、約9割が「とてもそう思う」「まあまあそう思う」答えており、「スポーツが嫌い」でも、健康や体力維持の手段としての価値を認識しています。

【回答からの考察】

- ▼どの学年でも「スポーツは大切」との意識が広く浸透していますが、中学段階ではその意識がやや弱まる傾向が見られます。
- ▼特に女子では「とてもそう思う」の割合が低めであり、スポーツの意義を「競技志向」だけでなく、「楽しさ」や「交流」と結びつける工夫が考えられます。

設問11

スポーツや運動をして、体のどこかが痛むことはありますか。

小学5年生

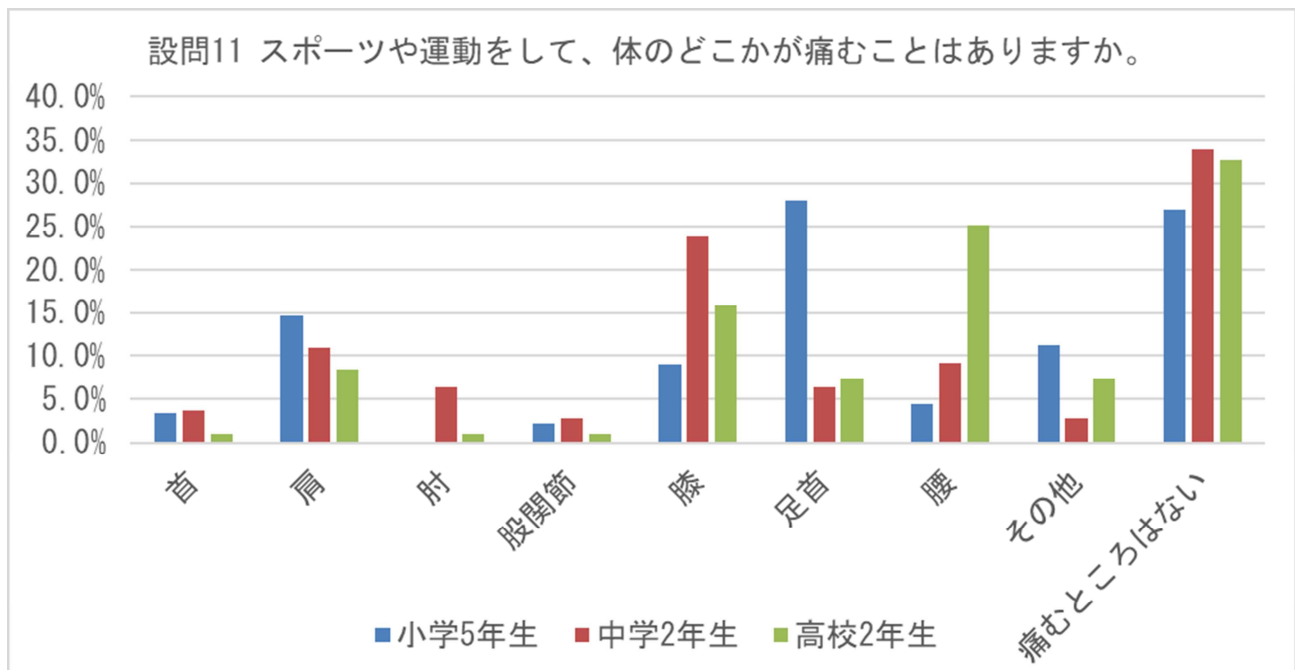
項目	男子	女子	総計
首（くび）	4.4%	2.3%	3.4%
肩（かた）	17.8%	11.4%	14.6%
股関節（こかんせつ）	2.2%	2.3%	2.2%
膝（ひざ）	11.1%	6.8%	9.0%
足首（あしくび）	22.2%	34.1%	28.1%
腰（こし）	8.9%	0.0%	4.5%
その他	13.3%	9.1%	11.2%
痛むところはない	20.0%	34.1%	27.0%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

中学2年生

項目	男子	女子	総計
首（くび）	3.6%	3.7%	3.7%
肩（かた）	16.4%	5.6%	11.0%
肘（ひじ）	9.1%	3.7%	6.4%
股関節（こかんせつ）	5.5%	0.0%	2.8%
膝（ひざ）	25.5%	22.2%	23.9%
足首（あしくび）	5.5%	7.4%	6.4%
腰（こし）	7.3%	11.1%	9.2%
その他	0.0%	5.6%	2.8%
痛むところはない	27.3%	40.7%	33.9%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計
首（くび）	0.0%	2.3%	1.1%
肩（かた）	13.7%	2.3%	8.4%
肘（ひじ）	0.0%	2.3%	1.1%
股関節（こかんせつ）	0.0%	2.3%	1.1%
膝（ひざ）	15.7%	15.9%	15.8%
足首（あしくび）	5.9%	9.1%	7.4%
腰（こし）	19.6%	31.8%	25.3%
その他	9.8%	4.5%	7.4%
痛むところはない	35.3%	29.5%	32.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%



【設問5の回答との関連性】

※設問4学校の授業以外で、スポーツや運動していますか？で「はい」と回答した者

回答項目		設問5 どのくらいスポーツや運動をしていますか？				
		ほとんど毎日	週3～4回	週1～2回	月1～2回	年に数回
設問11 スポーツや運動をして、体のどこかが痛むことはありますか。	首	2	1	1		
	肩	9	4	8	1	2
	肘	5	3			
	股関節	2	2	1		
	膝	18	9	3	3	1
	足首	13	7	4		1
	腰	19	7	4	1	
	その他	6	4	5		2
	痛むところはない	18	14	19	4	4

【回答のまとめ】

▼痛みを感じない層は、全体の3割前後であり、逆に約7割の児童生徒が何らかの痛みを経験しています。

【回答からの考察】

- ▼小学・中学・高校を通じて「腰」「ひざ」に痛みを感じる人が多く、スポーツ障害やオーバーユースにつながる可能性が考えられます。
- ▼部活動や競技活動の指導では、正しいウォーミングアップ・ストレッチ・体幹強化などを意識した取り組みが考えられます。
- ▼医療機関やトレーナーとの連携体制を整え、スポーツ障害の予防と早期対応を図る仕組みづくりが求められます。

設問12

あなたは、学校や地域のスポーツ活動にもっと参加してみたいと思いますか？

小学5年生

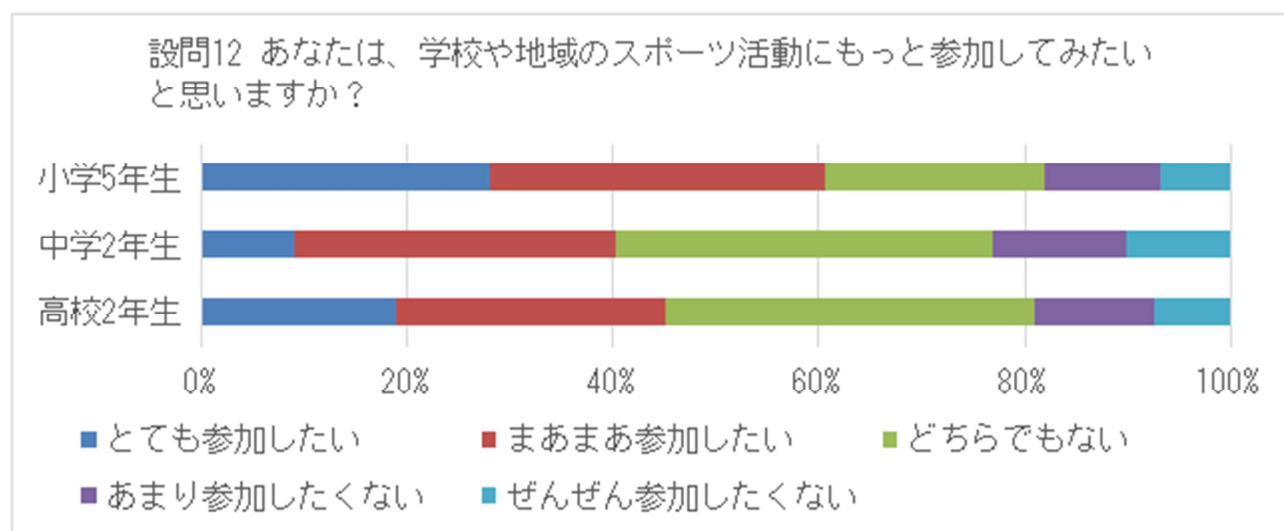
項目	男子	女子	総計
とても参加したい	37.8%	18.2%	28.1%
まあまあ参加したい	28.9%	36.4%	32.6%
どちらでもない	15.6%	27.3%	21.3%
あまり参加したくない	8.9%	13.6%	11.2%
ぜんぜん参加したくない	8.9%	4.5%	6.7%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

中学2年生

項目	男子	女子	総計
とても参加したい	10.9%	7.4%	9.2%
まあまあ参加したい	40.0%	22.2%	31.2%
どちらでもない	36.4%	37.0%	36.7%
あまり参加したくない	10.9%	14.8%	12.8%
ぜんぜん参加したくない	1.8%	18.5%	10.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計
とても参加したい	27.5%	9.1%	18.9%
まあまあ参加したい	27.5%	25.0%	26.3%
どちらでもない	31.4%	40.9%	35.8%
あまり参加したくない	5.9%	18.2%	11.6%
ぜんぜん参加したくない	7.8%	6.8%	7.4%
総計	100.0%	100.0%	100.0%



【設問3の回答との関連性】

回答項目		設問3 あなたはスポーツや運動をするのが好きですか？				
		大好き	まあまあ好き	どちらでもない	少し嫌い	大嫌い
設問12 あなたは、学校や地域のスポーツ活動にもっと参加してみたいと思いますか？	とても参加したい	51	2			
	まあまあ参加したい	46	39	3		
	どちらでもない	20	49	15	9	
	あまり参加したくない	3	13	6	11	2
	ぜんぜん参加したくない		4	6	5	9

【回答のまとめ】

- ▼小学5年生は参加意欲が高く「とても参加したい」「まあまあ参加したい」を合わせて60.7%です。
- ▼中学2年生、高校2年生では「どちらでもない」と回答した中立層が最も多く、中学2年生で36.7%、高校2年生で35.8%となっています。
- ▼消極層（「あまり」＋「ぜんぜん」）は、全体で約20%前後を占め、特に女子でその傾向が強くみられます。
- ▼設問3で「少し嫌い」または「大嫌い」と回答した人の中には、設問12で「とても参加したい」「まあまあ参加したい」と回答した人はいませんでした。
- ▼「スポーツが嫌い」と回答した人は、学校や地域のスポーツ活動への参加意欲も非常に低い傾向です。

【回答からの考察】

- ▼小学段階では参加意欲が高いものの、中学以降で大きく低下する傾向が見られます。
- ▼特に女子で消極的な姿勢が強くみられるため、部活動以外にも地域や日常の中で「気軽に・楽しく」参加できる仕組みをつくることが考えられます。
- ▼中立層に対しては、体験機会や情報発信を通じて、参加のきっかけをつくる取組が有効と考えられます。

設問13

あなたの家族は、スポーツや運動をしていますか？

小学5年生

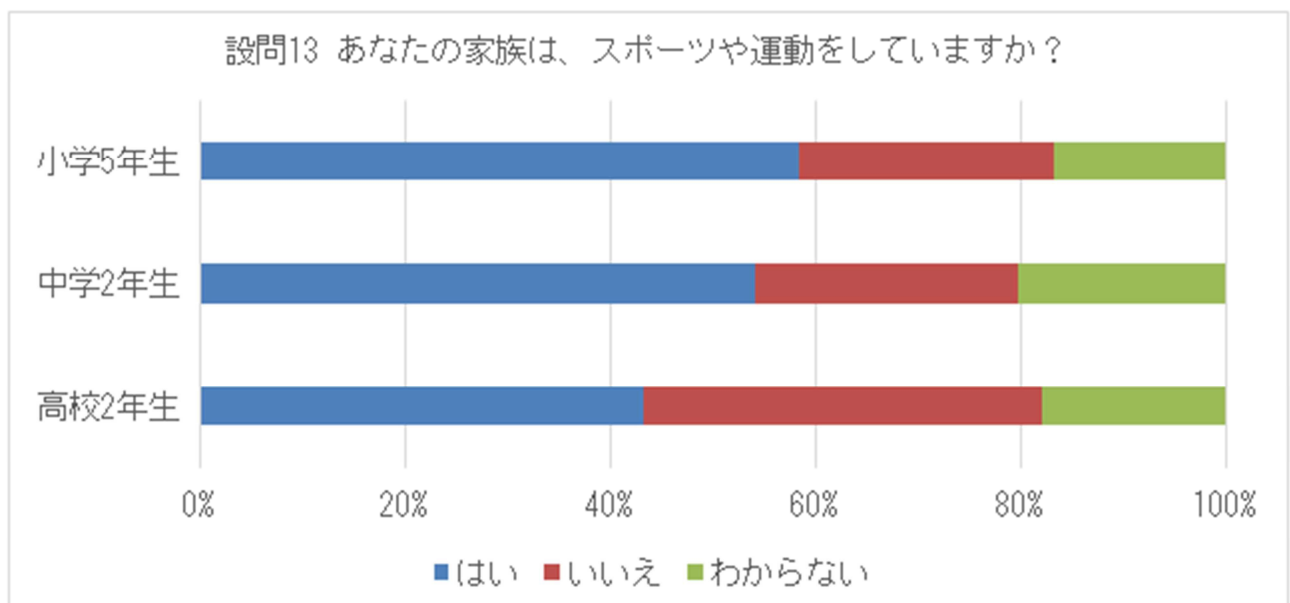
項目	男子	女子	総計
はい	57.8%	59.1%	58.4%
いいえ	24.4%	25.0%	24.7%
わからない	17.8%	15.9%	16.9%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

中学2年生

項目	男子	女子	総計
はい	54.5%	53.7%	54.1%
いいえ	29.1%	22.2%	25.7%
わからない	16.4%	24.1%	20.2%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計
はい	47.1%	38.6%	43.2%
いいえ	29.4%	50.0%	38.9%
わからない	23.5%	11.4%	17.9%
総計	100.0%	100.0%	100.0%



【設問3の回答との関連性】

回答項目		設問3 あなたはスポーツや運動をするのが好きですか？				
		大好き	まあまあ好き	どちらでもない	少し嫌い	大嫌い
設問13 あなたの家族は、スポーツや運動をしていますか？	はい	76	52	10	8	6
	いいえ	27	34	14	11	1
	わからない	17	21	6	6	4

【回答のまとめ】

- ▼家族の運動習慣は、子どもの学年が上がるにつれて減少しています。
- ▼小学5年生では、家族がスポーツをしていると答えた割合が6割弱です。
- ▼中学2年生では、「はい」が5割強で小学よりやや減少し、「わからない」が微増しています。
- ▼高校2年生では、「はい」が4割強に減少し、「いいえ」が増加しており、家族のスポーツ実施率がさらに低下しています。
- ▼設問3で「大好き」または「まあまあ好き」と回答した人の家族では、家族の運動実施率も高い傾向が見られます。

【回答からの考察】

- ▼家族のスポーツ実施率が、学年の上昇とともに低下する傾向は、子ども自身のスポーツ継続意欲にも影響している可能性があります。
- ▼「家庭ぐるみの健康づくり」を通じて、親子や世代間でスポーツ習慣を共有できるような取組を検討することが考えられます。
- ▼運動を身近に感じられる機会を広げていくことが課題です。

設問14

あなたは、スポーツを見るのが好きですか？

小学5年生

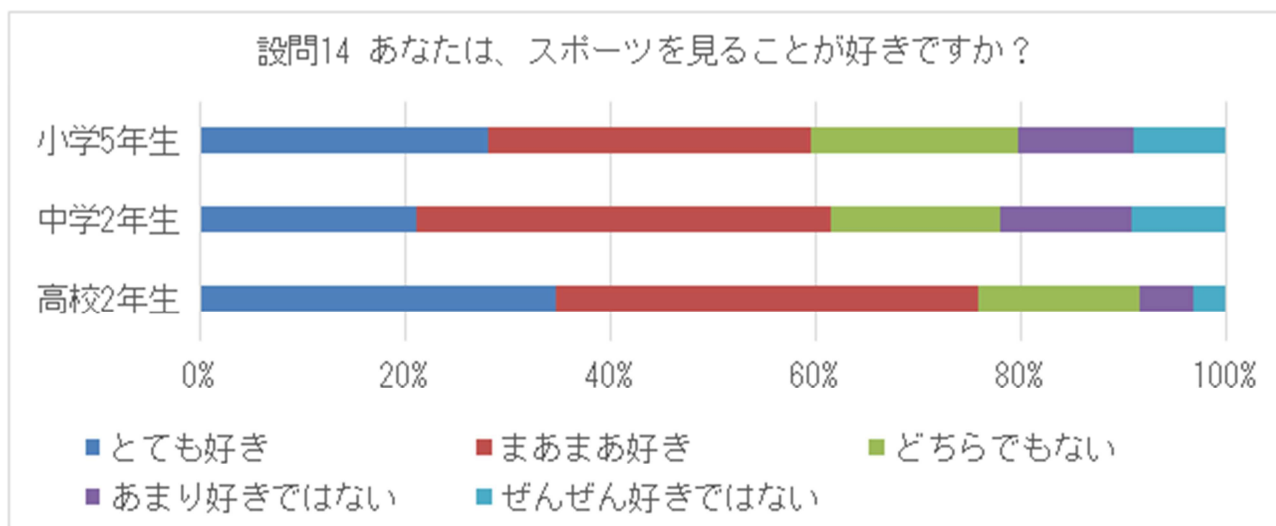
項目	男子	女子	総計
とても好き	40.0%	15.9%	28.1%
まあまあ好き	26.7%	36.4%	31.5%
どちらでもない	17.8%	22.7%	20.2%
あまり好きではない	6.7%	15.9%	11.2%
ぜんぜん好きではない	8.9%	9.1%	9.0%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

中学2年生

項目	男子	女子	総計
とても好き	30.9%	11.1%	21.1%
まあまあ好き	41.8%	38.9%	40.4%
どちらでもない	12.7%	20.4%	16.5%
あまり好きではない	10.9%	14.8%	12.8%
ぜんぜん好きではない	3.6%	14.8%	9.2%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計
とても好き	39.2%	29.5%	34.7%
まあまあ好き	41.2%	40.9%	41.1%
どちらでもない	15.7%	15.9%	15.8%
あまり好きではない	0.0%	11.4%	5.3%
ぜんぜん好きではない	3.9%	2.3%	3.2%
総計	100.0%	100.0%	100.0%



【設問3の回答との関連性】

回答項目		設問3 あなたはスポーツや運動をするのが好きですか？				
		大好き	まあまあ好き	どちらでもない	少し嫌い	大嫌い
設問14 あなたは、スポーツを見ることが好きですか？	とても好き	63	16	2		
	まあまあ好き	41	53	7	8	2
	どちらでもない	9	22	12	7	1
	あまり好きではない	5	13	6	4	1
	ぜんぜん好きではない	2	3	3	6	7

【回答のまとめ】

- ▼学年が上がるにつれて「見るのが好き」と回答する割合が増加しています。「とても好き」「まあまあ好き」を合わせた割合は、小学5年生で59.6%、中学2年生で61.5%、高校2年生で75.8%となり、高校で特に高い傾向です。
- ▼「あまり好きではない」「ぜんぜん好きではない」は小学5年生で20.2%、中学2年生で22.0%、高校2年生で8.5%であり、学年が上がるほど否定的な回答が減少しています。
- ▼「とても好き」と答えた男子の割合は、小学5年生で40.0%、中学2年生で30.9%、高校2年生で39.2%と比較的高い傾向です。一方で女子は、小学5年生で15.9%、中学2年生で11.1%、高校2年生で29.5%にとどまり、特に小学と中学段階で男女差が大きく見られます。

【回答からの考察】

- ▼スポーツ観戦は、学年が上がるにつれて関心が高まり「観るスポーツ」としての魅力が高校段階でより浸透していると考えられます。
- ▼「するスポーツ」だけでなく、「観るスポーツ」を通じて関心広げ、体験や参加のきっかけにつながる取組が考えられます。
- ▼スポーツを観る機会が、スポーツへの親近感を育む要素となることが期待されます。

設問15

普段、どのようにスポーツをしていますか？（あてはまるものをすべて選んでください）【複数回答】

小学5年生

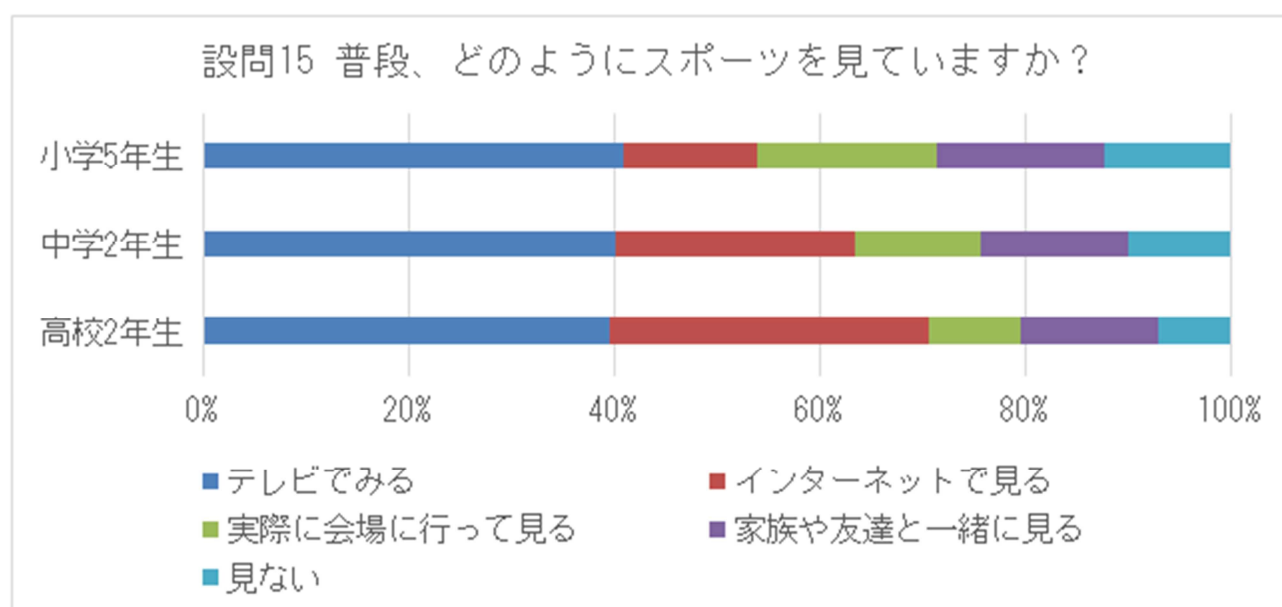
項目	男子	女子	総計
テレビでみる	34.9%	48.5%	40.9%
インターネットで見る	18.6%	5.9%	13.0%
実際に会場に行ってみる	18.6%	16.2%	17.5%
家族や友達と一緒に見る	16.3%	16.2%	16.2%
見ない	11.6%	13.2%	12.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

中学2年生

項目	男子	女子	総計
テレビでみる	46.7%	33.0%	40.1%
インターネットで見る	25.7%	20.6%	23.3%
実際に会場に行ってみる	10.5%	14.4%	12.4%
家族や友達と一緒に見る	11.4%	17.5%	14.4%
見ない	5.7%	14.4%	9.9%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計
テレビでみる	42.4%	36.1%	39.5%
インターネットで見る	35.3%	26.4%	31.2%
実際に会場に行ってみる	7.1%	11.1%	8.9%
家族や友達と一緒に見る	10.6%	16.7%	13.4%
見ない	4.7%	9.7%	7.0%
総計	100.0%	100.0%	100.0%



【回答のまとめ】

- ▼全学年通じて「テレビでみる」との回答が最も多いです。
- ▼学年が上がるにつれて「インターネットで見る」割合が増加しています。
- ▼同時に、学年が上がるにつれて「見ない」との回答が減少しています。

【回答からの考察】

- ▼スポーツ観戦の形態がデジタル化しており、インターネット配信やSNSを活用した情報発信の充実が効果的と考えられます。
- ▼特に若年層の男子ではオンライン配信の利用が高く、今後の普及や広報の手段として活用の可能性が見られます。

設問16

あなたは、士別市が「合宿の里」と呼ばれていることを知っていますか？

小学5年生

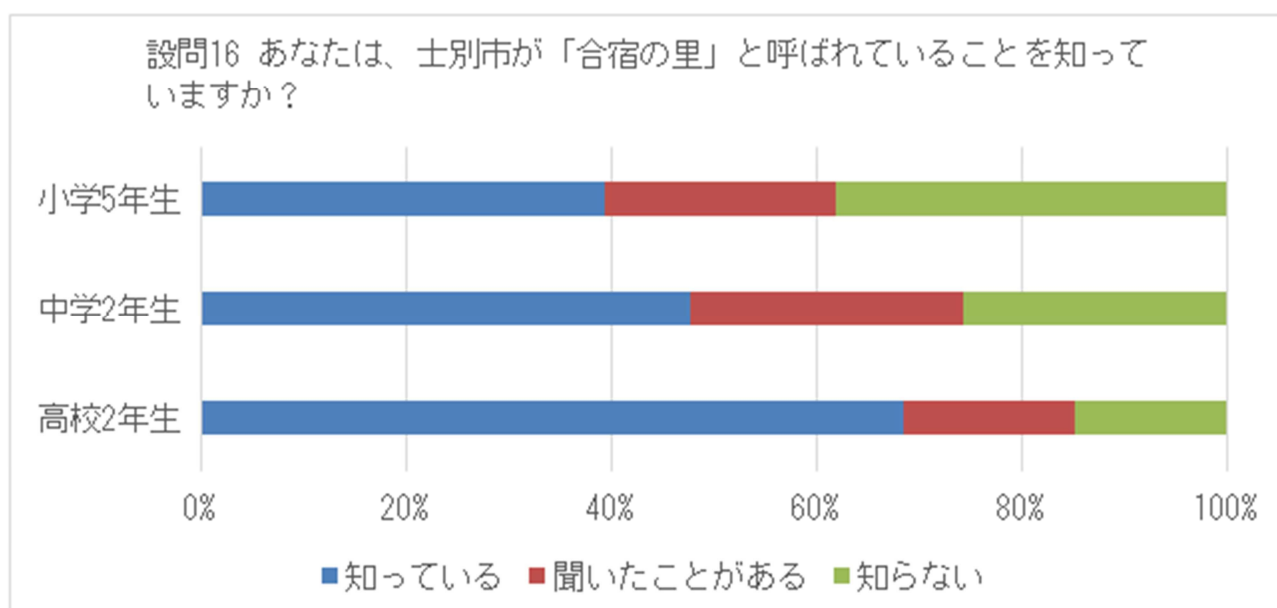
項目	男子	女子	総計	2017調査
知っている	40.0%	38.6%	39.3%	56.4%
聞いたことがある	22.2%	22.7%	22.5%	
知らない	37.8%	38.6%	38.2%	41.4%
無回答				2.2%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

中学2年生

項目	男子	女子	総計	2017調査
知っている	43.6%	51.9%	47.7%	70.8%
聞いたことがある	30.9%	22.2%	26.6%	
知らない	25.5%	25.9%	25.7%	27.4%
無回答				1.8%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計	2017調査
知っている	68.6%	68.2%	68.4%	79.9%
聞いたことがある	13.7%	20.5%	16.8%	
知らない	17.6%	11.4%	14.7%	17.2%
無回答				2.9%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



【回答のまとめ】

- ▼認知度は、学年が上がるほど高まり、小学5年生で39.3%、中学2年生で47.7%、高校2年生で68.4%が「知っている」と回答しています。
- ▼小学5年生の約40%が知らないと回答している一方で、高校2年生の「知らない」は15%以下にとどまっています。
- ▼男女による認知度の違いは見られないです。
- ▼「知っている」と「聞いたことがある」を合わせると、2017年調査時の「知っている」の割合を全学年で上回っています。
- ▼これは、小学校で実施している実業団陸上教室の取組が、認知度を向上に一定の効果をもたらしている可能性があります。

【回答からの考察】

- ▼学年が上がるにつれて「合宿の里」の認知度が高まっていますが、小学段階では「知っている」が半数に満たない状況です。
- ▼「土別＝合宿の里」という意識を育てる取組を進めていくことが考えられます。
- ▼体験や交流を通じて、児童生徒がまちの特徴を理解できる仕組みづくりを検討していく方向が見られます。

設問17

あなたは、合宿選手などのスポーツ選手と一緒に遊んだり、話したりするイベントがあったら参加してみたいですか？

小学5年生

項目	男子	女子	総計
とても参加したい	37.8%	15.9%	27.0%
まあまあ参加したい	26.7%	31.8%	29.2%
どちらでもない	20.0%	25.0%	22.5%
あまり参加したくない	11.1%	18.2%	14.6%
ぜんぜん参加したくない	4.4%	9.1%	6.7%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

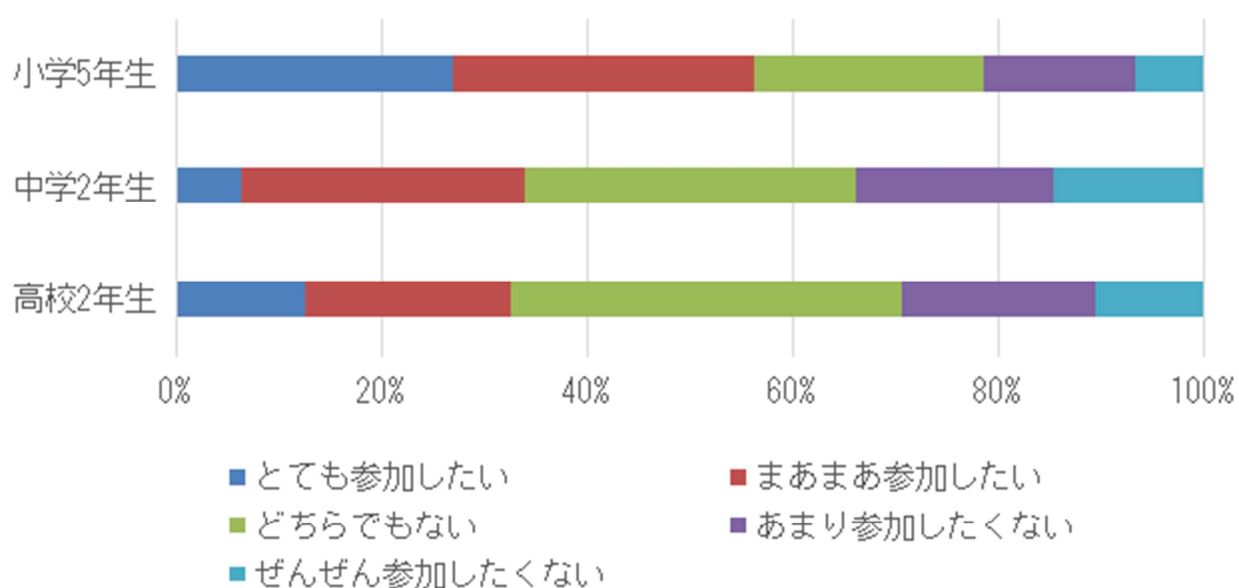
中学2年生

項目	男子	女子	総計
とても参加したい	5.5%	7.4%	6.4%
まあまあ参加したい	38.2%	16.7%	27.5%
どちらでもない	30.9%	33.3%	32.1%
あまり参加したくない	18.2%	20.4%	19.3%
ぜんぜん参加したくない	7.3%	22.2%	14.7%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計
とても参加したい	17.6%	6.8%	12.6%
まあまあ参加したい	25.5%	13.6%	20.0%
どちらでもない	35.3%	40.9%	37.9%
あまり参加したくない	7.8%	31.8%	18.9%
ぜんぜん参加したくない	13.7%	6.8%	10.5%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

設問17 あなたは、合宿選手などのスポーツ選手と一緒に遊んだり、話したりするイベントがあったら参加してみたいですか？



【回答のまとめ】

- ▼小学5年生では「とても参加したい」「まあまあ参加したい」を合わせて56.1%で、最も高い参加意欲が見られます。
- ▼小学から中学への移行期に「とても参加したい」が大きく低下しています。
- ▼無関心層は、学年が上がるにつれて増加し、特に女子でその傾向が強いです。
- ▼女子は全学年をととして、男子よりも消極的な傾向が見られます。

【回答からの考察】

- ▼スポーツ選手との交流イベントは、小学生には一定の効果が見られますが、中学生・高校生には関心が届きにくい傾向があります。
- ▼特に女子や高学年層では参加意欲が低く「一緒に体験する」「SNSや映像でつながる」など、多様な交流の形を工夫することが考えられます。
- ▼年齢や関心に応じた情報発信や内容を工夫することで、より多くの層に魅力が伝わる可能性があります。

設問18

あなたは、士別市で行われるスポーツイベントに参加したことがありますか？【複数回答】

小学5年生

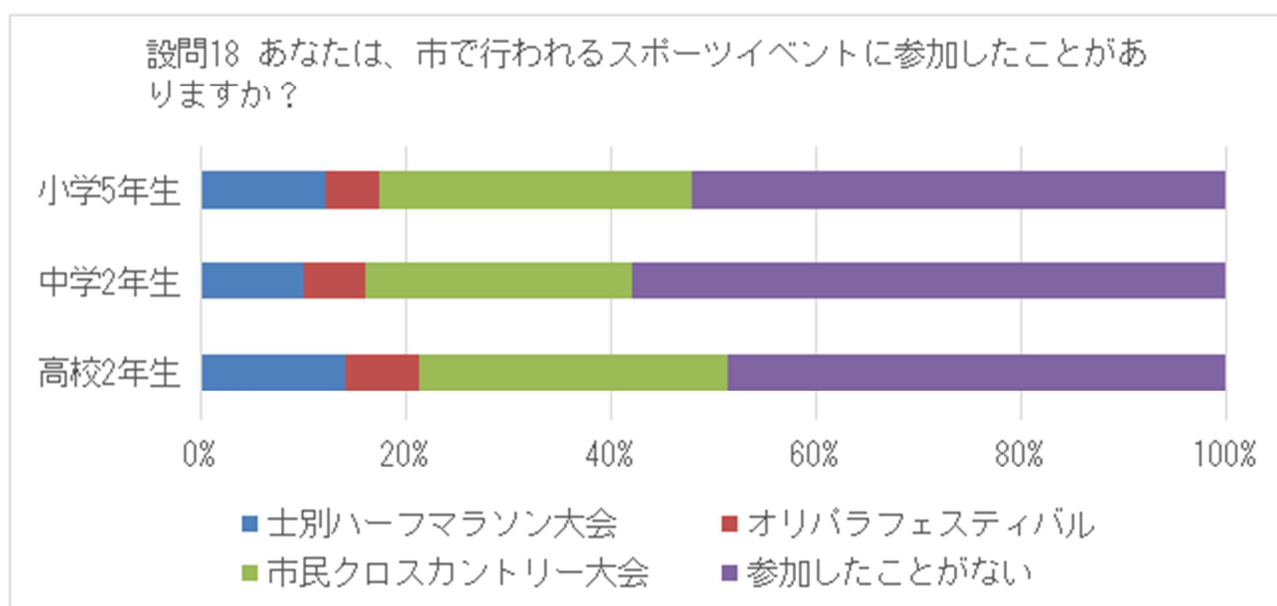
項目	男子	女子	総計
士別ハーフマラソン大会	15.7%	8.5%	12.2%
オリパラフェスティバル	5.9%	4.3%	5.1%
市民クロスカントリー大会	29.4%	31.9%	30.6%
参加したことがない	49.0%	55.3%	52.0%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

中学2年生

項目	男子	女子	総計
士別ハーフマラソン大会	11.9%	8.3%	10.1%
オリパラフェスティバル	5.1%	6.7%	5.9%
市民クロスカントリー大会	25.4%	26.7%	26.1%
参加したことがない	57.6%	58.3%	58.0%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計
士別ハーフマラソン大会	15.6%	12.2%	14.2%
オリパラフェスティバル	9.4%	4.1%	7.1%
市民クロスカントリー大会	28.1%	32.7%	30.1%
参加したことがない	46.9%	51.0%	48.7%
総計	100.0%	100.0%	100.0%



【設問12の回答との関連性】

回答項目		設問12 あなたは、学校や地域のスポーツ活動にもっと参加してみたいと思いますか？				
		とても参加したい	まあまあ参加したい	どちらでもない	あまり参加したくない	ぜんぜん参加したくない
設問18 あなたは、士別市で行われるスポーツイベントに参加したことがありますか？	士別ハーフマラソン大会	4	7	14	5	5
	オリパラフェスティバル	2	6	4	4	2
	市民クロスカントリー大会	16	25	30	7	6
	参加したことがない	31	50	45	19	11

【回答のまとめ】

- ▼全体で「参加したことがない」は、小学・中学とも5割を超え、高校2年生でも5割弱となっています。
- ▼全体の約3割が、市民クロスカントリー大会への参加経験があり。最も参加率が高いイベントです。
- ▼男子は、クロスカントリー大会やハーフマラソン大会への参加率が女子よりやや高い傾向です。
- ▼女子は、全学年で「参加したことがない」と回答する割合が男子より高く、参加機会の差が見られます。

【回答からの考察】

- ▼全体として「参加したことがない」が約半数を占めており、イベントへの参加が限定的であるとうかがえます。
- ▼誰もが気軽に参加できる形態や、参加のきっかけをつくる仕組みを検討していくことが考えられます。

設問19

（設問18で「参加したことがある」と答えた人のみ）参加したイベントは楽しかったですか？

小学5年生

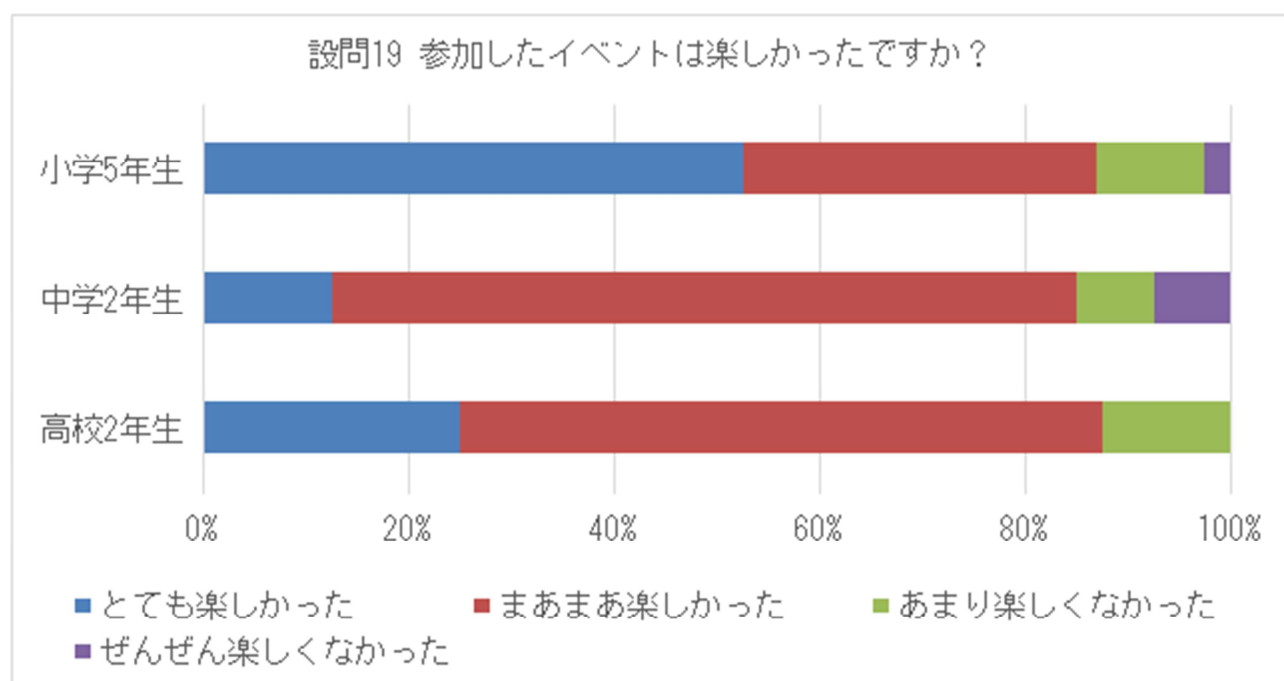
項目	男子	女子	総計
とても楽しかった	60.0%	44.4%	52.6%
まあまあ楽しかった	30.0%	38.9%	34.2%
あまり楽しくなかった	5.0%	16.7%	10.5%
ぜんぜん楽しくなかった	5.0%	0.0%	2.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

中学2年生

項目	男子	女子	総計
とても楽しかった	4.8%	21.1%	12.5%
まあまあ楽しかった	85.7%	57.9%	72.5%
あまり楽しくなかった	4.8%	10.5%	7.5%
ぜんぜん楽しくなかった	4.8%	10.5%	7.5%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計
とても楽しかった	33.3%	15.8%	25.0%
まあまあ楽しかった	61.9%	63.2%	62.5%
あまり楽しくなかった	4.8%	21.1%	12.5%
総計	100.0%	100.0%	100.0%



【回答のまとめ】

- ▼小学5年生では、52.6%が「とても楽しかった」と回答しており、満足度が高いです。
- ▼中学2年生では、「とても楽しかった」が12.5%と低く、高校2年生では、25.0%とやや回復しています。
- ▼「あまり楽しくなかった」「ぜんぜん楽しくなかった」は、全体で1割前後にとどまっています。
- ▼男子は、小学5年生で「とても楽しかった」が60%と高いものの、中学・高校で大きく減少し、高校2年生でも33.3%です。
- ▼女子は、小学5年生で「とても楽しかった」44.4%。中学2年生で21.1%、高校2年生で15.8%と低く、特に上の学年ほど満足度が低い傾向です。
- ▼女子は「あまり楽しくなかった」「ぜんぜん楽しくなかった」と回答する割合が男子より高く、全体として満足度が低い傾向です。

【回答からの考察】

- ▼イベント参加に対しては肯定的な評価が多い一方で、「とても楽しかった」と感じる割合は学年が上がるにつれて減少しています。
- ▼学年や性別に応じて、関心を高められる内容や魅力づくりを工夫することが考えられます。

設問20

あなたは、士別市で行われるスポーツイベントに、参加したいと思いますか？

小学5年生

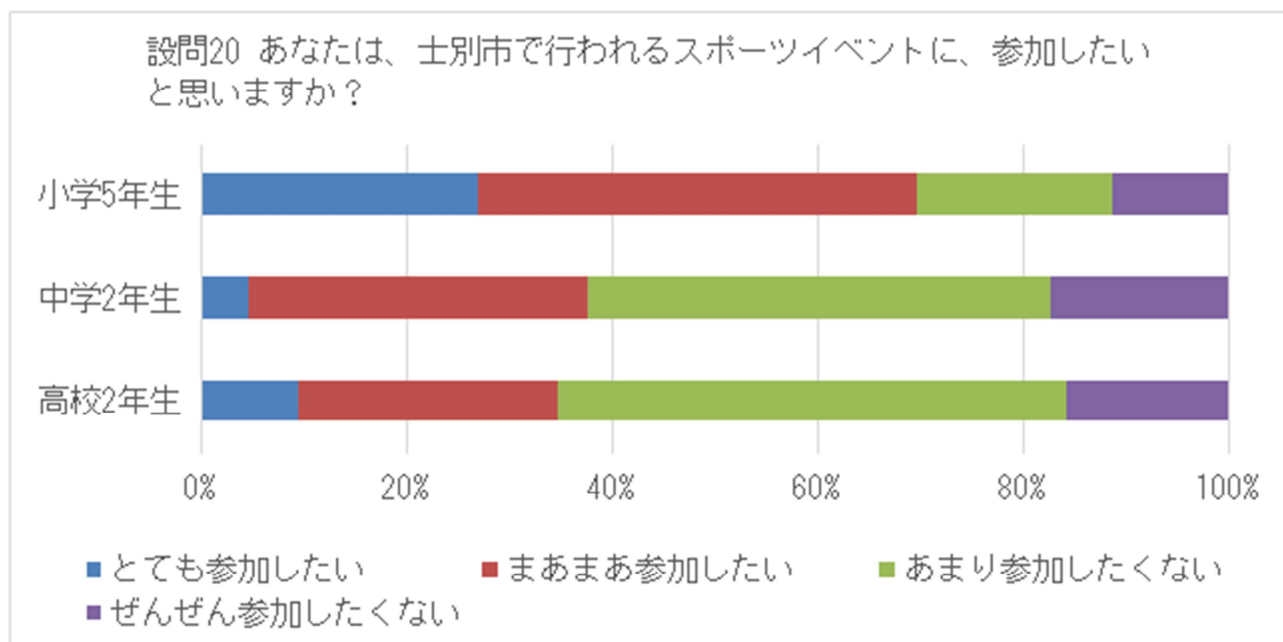
項目	男子	女子	総計
とても参加したい	37.8%	15.9%	27.0%
まあまあ参加したい	37.8%	47.7%	42.7%
あまり参加したくない	13.3%	25.0%	19.1%
ぜんぜん参加したくない	11.1%	11.4%	11.2%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

中学2年生

項目	男子	女子	総計
とても参加したい	3.6%	5.6%	4.6%
まあまあ参加したい	38.2%	27.8%	33.0%
あまり参加したくない	49.1%	40.7%	45.0%
ぜんぜん参加したくない	9.1%	25.9%	17.4%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

高校2年生

項目	男子	女子	総計
とても参加したい	11.8%	6.8%	9.5%
まあまあ参加したい	29.4%	20.5%	25.3%
あまり参加したくない	47.1%	52.3%	49.5%
ぜんぜん参加したくない	11.8%	20.5%	15.8%
総計	100.0%	100.0%	100.0%



【設問12の回答との関連性】

回答項目		設問12 あなたは、学校や地域のスポーツ活動にもっと参加してみたいと思いますか？				
		とても参加したい	まあまあ参加したい	どちらでもない	あまり参加したくない	ぜんぜん参加したくない
設問20 あなたは、士別市で行われるスポーツイベントに、参加したいと思いますか？	とても参加したい	30	7	1		
	まあまあ参加したい	16	56	21	5	
	あまり参加したくない	7	23	57	22	4
	ぜんぜん参加したくない		2	14	8	20

【回答のまとめ】

- ▼「とても参加したい」「まあまあ参加したい」と回答した割合は、学年が上がるにつれて低下しています。小学5年生で69.7%、中学2年生で62.4%、高校2年生で65.3%です。
- ▼一方「あまり参加したくない」「ぜんぜん参加したくない」は、小学5年生で30.3%、中学2年生で45.0%、高校2年生で49.5%と増加しています。
- ▼男子は、「とても参加したい」が小学5年生で37.8%と高いものの、中学2年生で3.6%、高校2年生で11.8%に低下しています。
- ▼女子は、「とても参加したい」が小学5年生で15.9%、中学2年生で5.6%、高校2年生で6.8%と全学年をとおして低いです。
- ▼男女ともに学年が上がるにつれ参加意欲が低下していますが、特に女子はその傾向が強く見られます。

【回答からの考察】

- ▼小学段階では、イベントへの関心が高い一方で、中学・高校段階では関心が大きく低下する傾向が見られます。
- ▼特に女子は中学・高校で関心が低く、従来型のイベントでは魅力を感じにくい可能性があります。